



# 新春座談会 各界が語る

## ～「オール当別」のまちづくり～



新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆様におかれましては、お健やかな  
新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上  
げます。本年も広報とうべつを宜しく願い  
いたします。

さて、今月号では新春の特集として座談会  
を企画しました。町では「当別町まち・ひと・  
しごと創生総合戦略」を策定し地方創生に向  
けた取り組みを進めています。

中でも基幹産業である農業では、「当別町農  
業10年ビジョン」を策定し、農産物の高付加  
価値化、生産コストの削減等を通して農業産  
出額100億円を目標とした次世代に引き継ぐ  
べき「もうかる農業」を具体的に進めようと  
しています。

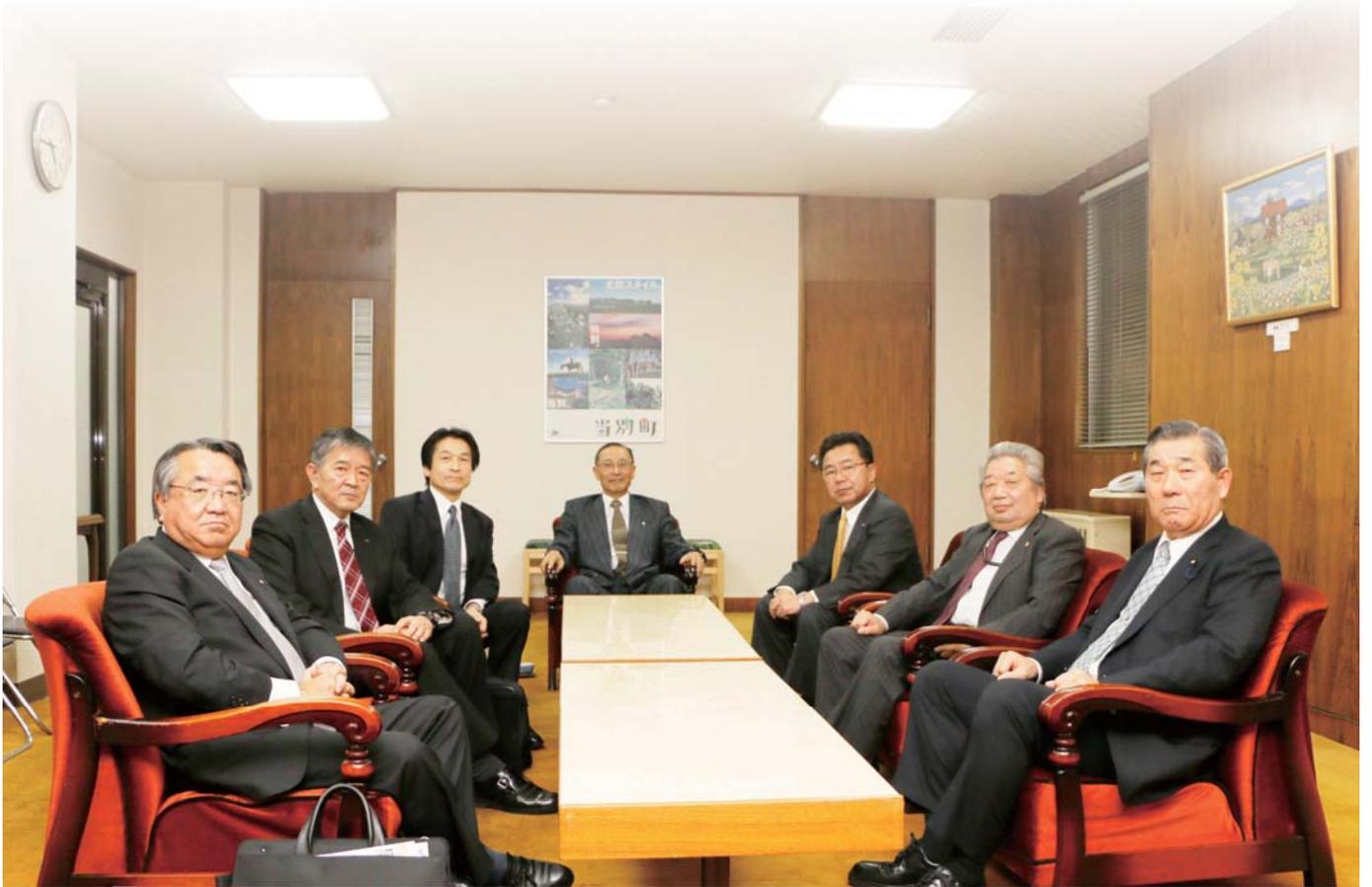
このような動きの中、当別町、当別町議会、  
北石狩農業協同組合、当別町商工会、当別土  
地改良区、篠津中央土地改良区の6団体が当  
別町の課題克服のため動き出しました。

平成29年9月に完成する「道の駅」施設を  
核とした北海道をリードする「食」の総合拠  
点づくりや、道路網の整備、食品関連企業な  
どの誘致への協力や支援、農地や生産者への  
支援、地元商工業者への支援、再生可能エネ  
ルギーの積極的な活用への支援など、初めて  
「オール当別」として平成28年12月に関係省  
庁への要望活動（中央要望）を実施しました。

そこで中央要望に参加された団体の代表者  
にお集まりいただき、この度の活動において  
感じたことと2017年に向けたそれぞれの団体  
の抱負を町民の皆様にお伝えいたします。

工事が進む「道の駅」  
平成28年12月17日撮影





○新春座談会（12月6日）出席者（敬称略）

	当別町長	宮 司 正 毅	
(司会)			当別町議会
当別町副町長	増 輪 肇		議 長 後 藤 正 洋
北石狩農業協同組合			当別土地改良区
代表理事組合長	川 村 義 宏		理 事 長 山 田 智
当別町商工会			篠津中央土地改良区
会 長	山 田 明		理 事 長 古 谷 陽 一

○要望先と意見交換内容

<p>国土交通省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「食」の総合拠点への支援</li> <li>○国道 337 号早期完成</li> <li>○道の駐車場の機能維持に対する支援</li> </ul> <p>経済産業省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小規模事業者持続化補助金の拡充</li> <li>○地中熱、木質バイオマス等エネルギー循環体系構築への支援</li> <li>○固定買取制度価格決定の弾力的運用</li> <li>○企業の地方移転への補助、融資の拡充</li> </ul>	<p>農林水産省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業農村整備事業の促進</li> <li>○スマート農業、輪作作物導入への支援</li> <li>○野菜生産拡大・安定的な花き生産への支援</li> <li>○食品関連等企業誘致の規制緩和</li> </ul> <p>この他、道内選出国會議員 5 名へ要望活動を行った</p> <p>(12月1日～2日東京にて活動)</p>
---	---

**(司会 増輪副町長)**

一各団体では、個別に中央への要望活動を実施してこられました。今回「オール当別」で行えたということは画期的であったと考えています。皆様方の感想は。

**宮司町長** 町長となつていろいろと皆さんと話をしてきた中で、町の取り組みに対する皆さんの協力度合い・機運が出てきたので一度、「オール当別」という形での要望活動を行いたいと思っていましたところ、この度、皆さんのご協力により実現できたことに感謝します。おかげさまで、農林水産省・国土交通省・経済産業省の各省庁に対して各位よりそれぞれの立場で提案をしていただいたので、非常に意味のある活動だったと思っています。



宮司町長

**川村組合長** 今回、各省庁で地元の作目など具体的な話ができて、当別町の事情も含めて、町の深いところまで、分かってもらえる良いきっかけであったと思っています。今後、農業者が少なくなつて新規就農を求めるようになれば、住むところが必要になったりと、商工会など他団体との連携も必要で、「オール当別」で取り組めたことはとても良かったと思っています。



平成 28 年 12 月国土交通省にて

**山田会長** これまでは、それぞれの団体の間に少しずつ垣根のようなものがあったと感じています。しかし、今回、同じ方向を向いて中央への要望ができたことで、お互いの考え方が分かり、「オール当別」で活動できたことで、各省庁の方も当別町のまとまりということも感じたのではないかと考えています。

**古谷理事長** 今回、町の実情に沿って要望し、各省庁の方からも良きアドバイスをいただくことができ、素晴らしい活動だったと思っています。時間のない中ではありましたが、次回に向けては、もう少し事前に打ち合わせを行えるともっと良いものになると感じました。

**山田理事長** これまで独自で中央要望を行ってきましたが、町長を中心に「オール当別」で行くことの大切さというものを痛感しました。町長・議長が一緒に行ってくれることによってこの町はどういう町づくりをしたいのかが、省庁の方々に伝わったのではないかと思います。今後は国費予算の概算要求前と概算決定時期の2回行うことができればより良いものになるのかと思います。また、もう少し時間をかけて、トップ同士の事前打ち合わせができれば、各関係



山田理事長

団体のやりたいことなどを統合して、当別町として進めていく取り組みをしっかりと伝えることができ、もっと素晴らしいものになると思います。

**後藤議長** 当別町が抱えている大きな課題、人口が減少している中でどう町を再生していくかということに各団体が同じ認識をもっていたた

めに、この度の中央要望が実現できたものと思っています。今後継続していく上では、しっかりと事前協議を行い、国に対して何を要望するのか、時期はいつが良いのかということも、考えなければならないと思います。また、この活動において、町長がいろいろなところにパイプを持たれ、それがしっかりと張り巡らされているなということを感じました。各省庁の方も大変好意的に迎えてくれましたし、いろいろなアドバイスをいただけて有益な活動だったと思っています。

—要望時にも話題となった道の駅について、各団体ではどのような活用方法、取り組みが考えられますか。

**川村組合長** 道の駅についてはJA北いしかりとしても、「失敗は絶対にさせられない」という強い思いを持っています。道の駅を積極的に利用して、組合員さんの所得向上につなげるということが大命題だと考えています。そのために、何ができるかを考え、肅々とその目標に向かって進めていきます。



川村組合長

**山田会長** 道の駅の開業によって商店街がさびれてしまうことは本末転倒な話です。道の駅の来場者をどうやって、既存の商店街に周遊させるかということについて、商業地域活性化推進委員会の中で多くのアイデアが出ています。もうける商工業というものを考えつつ、一昨年から行っているナイトパークなどのイベントをヒントに道の駅との相乗効果を狙っていきたくと思っています。

**古谷理事長** 道の駅は、農産物の直売も行う予定ですので、農業者としても、協力をしていかなければならないし、そうすることで、農業者の収益も上がってくるものと思っています。また、町のインフォメーションセンターとして



古谷理事長

道民の森や当別の観光名所を紹介し、町に人を呼び込んで町内での購買力をあげたり、農産物のPRができれば良いと思っています。

—これまでの話を含めてそれぞれの団体の2017年の抱負をお願いします。

**川村組合長** JAとしては、組合員さんの生活経済の安定が永遠のテーマであり一番の目標です。今の厳しい状態から脱するために、新しい方針を出して、農業が持続的に発展するよう関係団体と一緒に実行に移していきたいと考えています。



**山田会長** 15、6年前は400に届くところ  
いた商工会員は今290を切ってきており、昨  
年新たな取り組みとして始めた創業塾をきっか  
けに会員の増加を図り、**300以上の会員数を  
確保したい**と思っています。また、町には小規



山田会長

模企業振興条例  
を制定していただ  
き、事業者の意  
識の改革を進め、  
自らアイデアを出  
しながら事業を行  
うという機運を少  
しずつ高めていき  
たいと考えていま  
す。

**古谷理事長** 当別町の基幹作業は農業です。農  
業が元気にならなければ、町が活性化されな  
いと思っています。農業で一番大事な**基盤整備**  
をしっかりさせて、**米・麦・大豆以外にも野菜な  
どの高収益作物を作れるように**し、当別の農  
家・農業が発展できるように努力していきたい  
と思っています。

**山田理事長** ここ数年の集中豪雨はもう異常気  
象というものではなく、恒常的に起きてくるも  
のと私は思います。そのために、これからは減  
災・防災・きょうじんか国土強靱化というものをいろいろな  
事業を取り入れて進めていかなければ、道の駅  
を活用して、農業収益をあげようとしてもうま  
くいかない可能性があります。災害に遭わなく  
ても、きっちりとした安全安心で良質な農作物  
がとれなければ農業というのは豊かになっ  
ていかない。**その基本をしっかりとやっ  
ていかなければならない**と思っています。

**後藤議長** 議会としては基本的に二代表制の  
一役をしっかりと担い、住民の皆さんとともに、  
町が行っていることをきちっと評価をし、機関  
決定していきたいと考えています。また、決定  
したことを住民にわかりやすく説明するため、  
**住民との距離間を縮めた議会づくり**を進めて  
いきたいと思っています。農業と商業の連携



後藤議長

で6次化をどう  
やるか、産官学  
の連携において  
人口減少・基礎  
学力の向上・子  
育て環境の整備  
をどうするかと  
いった課題に対  
して、お手伝い  
ができてと思い  
ています。

**宮司町長** 来年は年2回の要望活動をぜひ、実  
践してみたいと思います。町長になって3年を  
過ぎましたが、着実にこの町全体の機運が高  
まってきているように思います。それは、この  
度一緒に要望活動を行った、皆さん方のおかげ  
だと思っています。町内の若手の人たちも、そ  
れぞれの分野で向上を目指した動きが始まっ  
ていることを私はひしひしと感じています。また、  
町がやろうとしていることを議会がしっかりと  
理解して、チェックも含めて、提案をしてくれ  
ているという非常に良い形ができていると思  
います。これからも町のために皆さんと一緒にベ  
ストを尽くします。